

小中学校のあり方意見交換会 議事録  
(昭和中学校区)

令和6年1月10日 15:00～16:30  
パストラルかぞ (展示室)

参加者

幼稚園評議員及び小中学校評議員 23名

教育長・教育委員

小野田教育長、猪股委員、松永委員、片山委員

校長・園長

増田加須小学校長・加須幼稚園長、中村加須南小学校長  
遠井久夫昭和中学校長

事務局

斉藤生涯学習部長、中島学校教育部長、野本こども局長、高貫教育総務課長、清水学校教育課長、関口こども保育課長、岡田教育総務課主幹、野本学校教育課主幹兼指導主事、瀬高学校教育課主幹兼指導主事、澁谷学校教育課主幹兼指導主事、荒木こども保育課主幹兼指導主事、杉田教育専門員、折原教育総務課主査

意見交換

学校ごとにグループで話し合いを実施(校長同席、教育委員会職員も会話に参加)

会議資料

別添資料のとおり

## 幼稚園・小中学校評議員からの主な意見（学校ごと）

### 【加須幼稚園】

- 今後の就学前の子どもについては、幼稚園か保育所かではなく、認定こども園のようにしてケアしていく必要があるのではないか。
- 児童生徒数に大きな差が出てきているので、特色ある学校を打ち出し、市内全域を通学区として通学できるようなシステムを考えても良いのではないか。
- 統廃合にしても学区の見直しにしても、線引きが問題となる。境界線では、選択可能ゾーンとして位置付けてもいいのではないか。
- 学校の問題とは言え、突き詰めればまちづくりと直結する大きな問題である。いずれにしても市民からの意見を吸い上げていただきたい。

### 【三俣幼稚園】

- 統合はやむを得ないのではないか。その際には、義務教育学校やスクールバスの導入も考えてもいいのでは。
- 統廃合の前に、通学区の見直しをすべきではないか。水深小学校で加須南小学校よりの子どもは、加須南小学校に通えるようにしても良いのではないか。

### 【加須小学校】

- とにかく児童の減少数が多くてびっくりしている。
- 長期的には統廃合もやむを得ないと考える。加須北中学校などは教職員の適正配置もできない状況となっているため、市独自のケアが必要となっている。
- 水深小学校と加須南小学校の学区は見直しても良いのではないか。

### 【三俣小学校】

- 三俣小学校区の中でも人口に差が出ている状況があり、再編と無関係ではない。学区については見直してもいいのではないか。
- 6年間同じ人間関係になることを考えると複数のクラスが必要である。
- 行政としても、子育てしやすいまちづくりに向け努力してほしい。

### 【加須南小学校】

- 加須南小学校は、加須小学校から分離した学校であるが、今や大きく変化した水深小や今後大きく変換することが予想される高柳小との関わりを考える必要がある。学区を見直すべきである。その際には、歩いて30分以内とか、加須南小学校から3km以内とかで区切り、選択制にしてもいいのではないか。

- 加須南小学校の学区見直しに限らず、中学校の通学区も見直すべき。東武線で、昭和中と加須東中の学区を分けてもいいのではないか。
- 長期的には、小中一貫校や義務教育学校についても考えていく必要がある。

#### 【昭和中学校】

- 統廃合はやむなしと考えるが、その際には、旧行政区を越えて実施する必要がある。
- 小中学校の接続での激変は避けるべきである。子どもが加須南小学校を卒業して昭和中に入学したが、1クラスからいきなり6クラスになり萎縮してしまった。なかなか居場所が見つけられない子どもにとっては、不登校なども心配される。

### 幼稚園・小中学校評議員からの質問等

特になし